



# 戸田市議会議員 さいとう直子の

まちとつながる通信

後援会討議資料



このまちで、  
歳を重ね  
未来を創る。

戸田市に住んで36年。

人とのふれあいや居場所づくりを重視してきましたが、コロナ禍で改めて、ひとりぼっちにならないことの大切さを痛切に感じました。

また、私自身もこのまちで歳をとる当事者です。変化を前向きに捉えながら、このまちで、素敵に歳を重ねられるよう、みなさんと一緒に考え、戸田の未来を創っていきます。



## NEWS 人生 100 年時代！元気に未来を創る宣言！！

人生 100 年時代、出産・子育て・病気・介護などライフスタイルが変わり誰でも助けが必要な時期があります。一人世帯や核家族が多い中、市内の情報を知る機会が少ない人はひとりぼっちになりがちです。ですが、悩みを共有してくれる人の存在があるだけで、明日への力を得ると私自身も実感しています。それが、身近なところで相談できたり、すぐに気分転換できたりする場所があれば心強く、安心につながります。その対策として、医師による、薬だけではなく、「地域での人のつながり」を処方する「社会的処方」や食生活改善による健康づくり、特別な支援が必要な児童生徒やヤングケアラーへの理解と支援、について、文化芸術振興条例の制定などを要望してきました。その他、災害対応の強化など多々ありますが、これからも居場所や生きがいづくりのきっかけとなる仕組みづくりに力を入れていきます。



### プロフィール

ブルー学院高等学校、桜美林大学卒業。立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科修了。NHK「きょうの料理」/日テレ「ズームイン朝!」/テレ朝「ワイドスクランブル」/テレ玉「埼玉の教育」など、自治体広報番組のリポーターや司会などで活躍。2001 年に戸田市議会議員に初当選。議長、戸田市監査委員、常任委員会委員長等歴任。現在 6 期目。戸田市スポーツ協会理事、ソフトテニス連盟会長。



後援会員  
サポーター募集中!!  
さいとう直子  
後援会事務局

〒335-0023 戸田市本町 5-2-20-1104  
TEL&FAX 048(441)3625  
E-mail info@naoko-saito.jp  
HP <https://naoko-saito.jp/>

さいとう直子 🔍





## つながり・支え合いを感じるまちに

孤立しない介護と、8050問題解消のため、情報弱者ゼロへ。また若者を含め単身世帯などの不安を取り除く多世代シェアハウスや見守りを進めます。



## まち全体で子どもを見守る

家庭環境や発達の違いに関わらず質の高い教育で、問題解決能力を育む後押しをします。産後ケアと孤育てにならない支援、保育の人材確保と質向上に努めます。

# ひとりぼっちにならないまちへ



## まちはステージ！ 市民はキャスト！

人との出会いの場や、生涯学べ、一人一人がまちの一員として活躍できる居場所や絆づくりを進めます。また、文化・芸術をはじめ市民活動を応援します。



インコはひとりぼっちは苦手。  
孤独になると不安やストレスを抱える。  
仲間同士の絆を大切にしている習性がある。



## ストレスが少ない 健康寿命を伸ばすまちへ

福祉行政や保健所との連携など、地域医療の存続と充実に努めます。また、寝たきりゼロへ予防医療を推進し、健康教育に力を入れます。



## 災害に強く 犯罪のないまちに

感染症や自然災害の情報発信や、自主防災組織の強化、防災士の育成など地域住民の防災意識の向上へ。特殊詐欺や強盗事件から守る取り組みをさらに強化します。



## 戸田に住み、働く！ 持続可能な都市に

高齢者が次世代育成を行う拠点づくりや、女性の社会進出、若者の雇用拡大。また人材や場のシェアなど新しい働き方の企業支援に取り組みます。



## ホッとする水と緑があるまちへ

グリーンインフラの活用を推進し、気候変動への対応や豊かな生活空間の形成、自然共生社会に向けて活動します。また市民ボランティアやグリーンリカバリー視点の企業を支援します。

illustrated by TAKASHI SAGARA



さまざまな  
人との出会いで  
実現しました！

- カーボンニュートラル宣言
- 文化芸術振興条例の制定
- 議会にアドバイザー導入
- 文教建設委員長としてマニフェスト大賞優秀成果賞授賞
- 慢性腎臓病の啓発
- こども医療費の中学生まで無料化

- 駅前行政センターの設置
- 戸田音楽祭の開催
- 学童保育室の空き時間を利用し「親子ふれあい広場」に
- 中高層マンション等の紛争防止に関する条例
- 小中学校の普通教室エアコン
- 家族そろって歯科検診 etc.